

令和6年度 学校経営報告(定時制課程)

都立北豊島工科高等学校長 荒 繁勝

重点目標	当初の目標数値等	達成数値	成果と課題
中途転退学者の減少 (魅力ある学校生活の構築)	中途転退学者の減少 ○ 1年生～3年生 中途退学者を無くす ○ 4年生 全員卒業	○ 中途転退学者数 2名(※昨年度2名) 1年 1名 2年 1名 3年 0名 4年 0名	「あきらめない、あきらめさせない」を掲げて6年目。補習補講の充実や丁寧な指導の徹底を行った結果である。少人数指導の利点を生かし、きめ細かい指導と生徒とのコミュニケーションを実現することで学校生活の楽しさを感じている生徒もいる。不登校経験者も学校生活を楽しみ精進で登校する者もいる。次年度以降もこの定着率を確実なものとしていく。
進路希望の実現 (4年間を見通したキャリア教育の実現)	○ 進路内定 100% ○ キャリア教育の充実	○ 進路内定 100%達成 (※昨年100%) 就職5名 進学2名 ○ 外部と連携した進路行事 年9回実施 グループエンカウンターも含む	進路内定率は今年度も100%を達成できた。最後まであきらめずに活動을 続け全員が進路を決めることができた。本年度も、情報技術検定1級の合格を目指す生徒もいた。また溶接コンクールでは学校としての出場が7年連続となり定着した。常に関東大会に出場するなど、目覚ましい成果をあげている。外部と連携した進路行事では、生徒のコミュニケーション力を向上させる取り組みを実施した。今後も継続してキャリア教育の充実を図る。
安心・安全な教育環境	○ 学校行事の充実 ○ 学校事故 ゼロ ○ いじめ・体罰 ゼロ	○ 学校行事等での活躍:文化祭、学年行事の実施、 地域イベントへ(地域防災・匠の技の祭典)の参加 ○ 学校事故はゼロであった(※昨年 ゼロ) ○ いじめ・体罰: ゼロ ○ 補習補講の充実:始業前や長期休業日痛中の補習	部活動の活性化は厳しいが、放課後、体育館を活用した運動の機会の充実を図り、多くの生徒が参加している。学校行事や地域イベントへの参加などを通して生徒の帰属意識は高まり、特に文化祭での来場者対応や地域イベント(計2回参加)での対応では生徒の成長を非常に感じ、コミュニケーション力等の伸長にも大きく寄与した。また、いじめや体罰はない。今年度も個別対応の補習補講が十分に行われ、日本語指導や基礎学力定着の指導が進んできた。今後も継続していく。
広報活動の充実と募集対策	○ 学校説明会等の充実:4回 ○ 体験入学:2回 ○ HP等の充実:更新回数100回以上 ○ 中学校教員向け説明会 1回以上	○ 学校説明会:2回(特別支援関係を含む) ○ 体験入学、学校見学:1回 ○ HP等の更新回数:HP・Twitter 合わせて140回以上 ○ 説明会(電話連絡含む)100校 ○ 個別での相談対応等の実施	区内及び近隣区の中学校中心に中学校訪問を全教員で取り組んできた。特に各中学校に出向き個別の相談対応等を実施し募集につなげることができた。また不登校児童生徒向けの体験授業を実施し工科高校・定時制の理解促進につなげることができた。XやYouTube等のSNSの活用はさらに広げ再生回数は多いものでは数千回数にも上る動画もあり、昨年に比べ5倍の応募者があった。
学校経営の改善	○ 情報の共有化 ○ 分掌・委員会の精査 ○ 服務事故 ゼロ ○ 教職員のライフワークバランスの推進	○ 会議資料や議事録の電子化 ○ 分掌のメンバー構成、委員会の精査 ○ 服務事故 ゼロ ○ 月45時間を超える時間外勤務時間のゼロに取り組む テレワークの活用	情報共有をしやすくするため紙媒体から電子化に切り替えいつでも、どこでも情報を入手できるよう実施した。地域行事等への参加を通して地域からの信頼も得つつある。特に、防災訓練参加(ロケットストーブ制作)、特別支援学校へ作品(ポッチャ競技のランプス)の寄贈なども行い生徒の自信回復につなげることができた。今後も特別支援学校や地域との連携を通して生徒の活躍の場を作り継続をする。今年度も月45時間を超える時間外勤務者ゼロにすることができた。